

No.	19-3-8	場所	飯田市 野底川と飯田松川との合流点上流		次世代への継承キーワード
名称	クヌギの木が守った蟹江医院				災害現象理解
災害現象	洪水氾濫			河川	野底川
補足事項				支流	

諏訪市  
岡谷市  
辰野町  
箕輪町  
南箕輪村  
伊那市  
高遠町  
長谷村  
宮田村  
駒ヶ根市  
飯島町  
中川村  
大鹿村  
松川町  
高森町  
豊丘村  
喬木村  
上村  
飯田市  
南信濃村  
清内路村  
阿智村  
浪合村  
平谷村  
下條村  
阿南町  
売木村  
天龍村

概要	<p>飯田市の野底川を流れ下った土石流により、山麓部の街は破壊され、土石流の末端が市街地まで流れ込んだ。二階のひさしまで土砂が達した家もあり、上流では川端あった製綿工場が流され、7名が犠牲となった。一方、飯田松川では、大雨が降ったにもかかわらず、野底川などの河川と比較して被害は少なかった。</p> <p>●体験談（体験からの教訓）：○○、△△、▼▼ともに災害当時、 同地区住民（座談会発言を編集）</p> <p>○○：わたしの家の蟹江医院のまわりの木はほとんど流されましたが、<b>上流側に木が2本残って、それに流木がからんで水の流れを変えてくれました。おかげで家は川のまん中に取り残されたような形で流されずにすみました。</b></p> <p>△△：わたしの家でも<b>上流に柿の木が3本あって、これに流木ががらんで助かりました。それと、木も大事だが、家が少し高いところにあることも必要ですね。まわりに5軒ほどあったが、みんな流されたり全壊してしまいました。1mほど小高いところにあったわたしの家だけが残りました。</b></p> <p>▼▼：三六災害のような大きな災害のときは何をやっても無駄で、<b>とにかく早めに避難するように心がけるのがもっとも大事なことだと思います。</b></p> <p>○○：<b>水害のときは飲み水がなくなって、水のありがたさがわかりました。わたしは三六災害の体験から、大雨が来そうだと思うと1日に必要な水はいつも確保しています。</b></p> <p style="text-align: right;">（「伊那谷の自然」p.312）</p>
----	---

記 録



クヌギの木が守った蟹江医院

出典	「伊那谷の自然」p.312、314
備考	

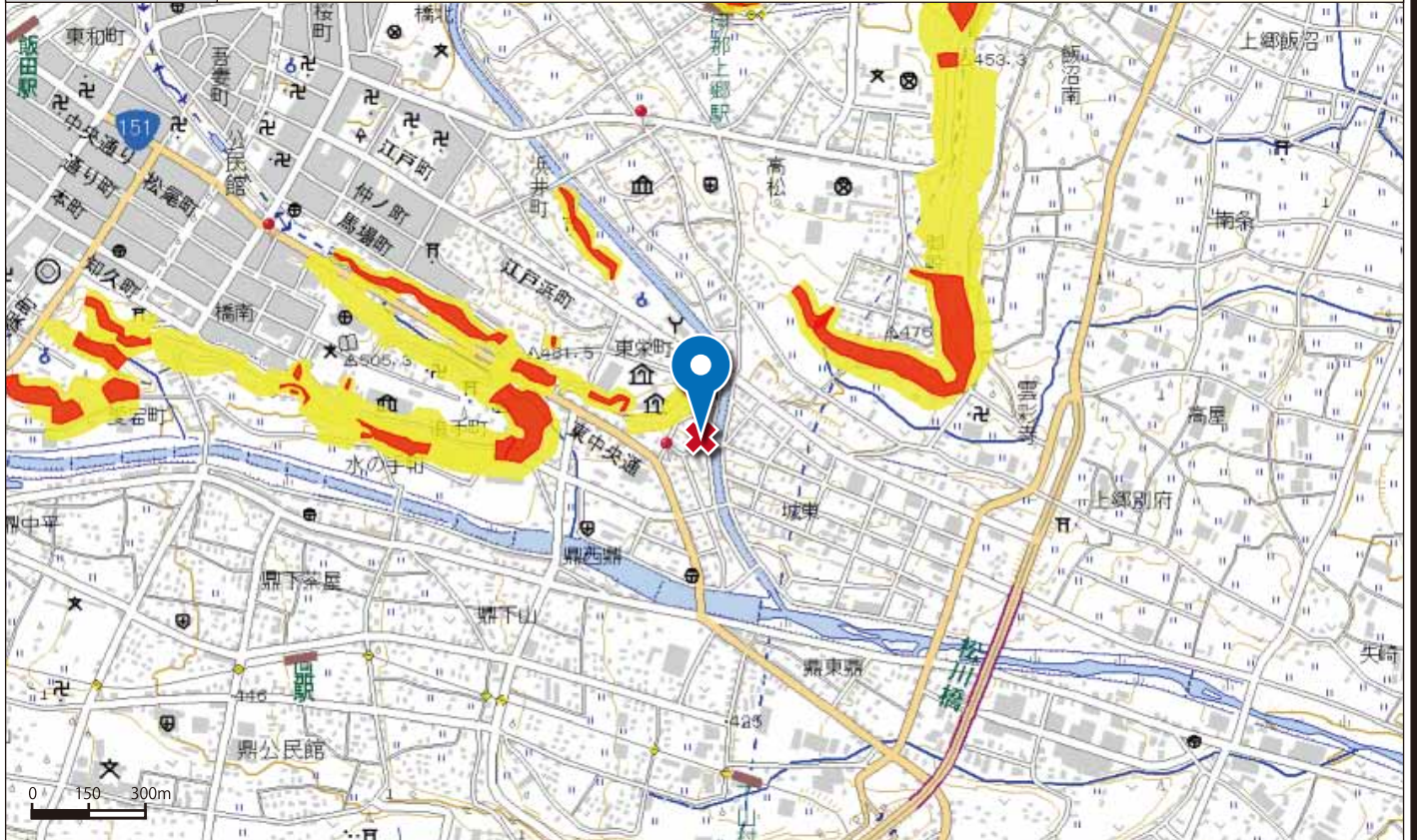
No.	19-3-8	場所	飯田市 野底川と飯田松川との合流点上流	緯度	35.511308
-----	--------	----	---------------------	----	-----------

名称	クヌギの木が守った蟹江医院	経度	137.838571
----	---------------	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。